

令和3年度

# 要覧



公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館内

TEL 076-432-6562 FAX 076-432-1766

Eメール toyama@nikkyoko.or.jp URL <http://www.nikkyoko.or.jp/company/toyama>

# 「教弘」の歩み

## "たすけあい"の輪

太平洋戦争後の1949(昭和24)年、日本人の心が未だ荒廃していた頃。

「健全にして文化的な社会の建設は、教育の振興なしには望めない。」状況にあり、「教育の復興のためには、教職員の生活の安定を図ることが第一」との信念のもと、教職員の『頼母子』による共済事業が始められました。

静岡県で蒔かれたこの「一粒の麦」は、「教育にたずさわる仲間たちの“たすけあい”の輪を広げよう!」との願いのもと、先人の弛みない努力により全国に拡がり、1952(昭和27)年、日本教育公務員弘済会の創立に発展、1955(昭和30)年には、文部省から財団法人の認可を受けるに至ります。

## 「富山県教育公務員弘済会」が発足

富山県でも、小学校長会が、中学校長会や高等学校長協会等に呼びかけて、1957(昭和32)年、財団法人日本教育公務員弘済会の支部として「富山県教育公務員弘済会」が発足し、1984(昭和59)年には、財団法人の設立が認可されます。

教職員の福利厚生からスタートした弘済会事業は、公益事業へと発展し、奨学・教育研究助成・教育文化事業などの教育振興事業に拡大しています。

## 公益財団法人として

「県での運営基盤の安定を図る。」という使命を終えた財団法人富山県教育公務員弘済会は、2010(平成22)年4月、公益財団法人を目指して全国が一つに合併し、富山支部としてスタートを切りました。

また、公益認定等委員会からの答申を受けた内閣総理大臣は、2012(平成24)年4月、これを認定、「公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部」となりました。『公益財団法人』に認定されたことは、弘済会事業の原資となる「教弘保険(ジブラルタ生命との提携事業)から生ずる契約者配当金が事業資金となることの仕組み」が行政府によって認められたことになり、社会的信用度とともに社会的使命も高まりました。

富山支部は、事業量の拡大とともに質の充実を図って『民による公益の増進』に努め、富山県教育の振興に、また、教職員の福祉に資する弘済会であり続けたいと願っています。



# 組織と事業

- 1. 名称** 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部
- 2. 所在地** 〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館内
- 3. 目的** この法人は、青少年の健全な育成に資するため、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付、教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行い、教育、文化の向上発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図ることを目的とする。
- 4. 事業** この法人は、上記の目的を実現するために、次の事業を行う。  
(1) 有為の学生、生徒に対する奨学資金の貸与及び給付  
(2) 教育一般の特に有益な研究に対する助成  
(3) 教育、文化の振興に対する支援  
(4) 教育関係者の福祉向上  
(5) その他この法人の目的を実現するために必要な事業
- 5. 役員等** 幹事会 …… 幹事(9名)をもって構成  
運営委員会 …… 運営委員(30名)をもって構成  
監査会 …… 監査(2名)をもって構成
- 6. 事務局** 専任役員 …… 2名  
職員 …… 1名(中島直美)  
参事 …… 6名(澤木昇、平本道宏、藤岳亮子、  
稲垣妙子、窪正則、伊井朋幸)

# 役員一覧

役職名	氏名	所属・職
顧問	荻布佳子	富山県教育委員会教育長
”	奥井貞夫	(財)日本教育公務員弘済会富山支部元支部長
”	亀遊壽之	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部元支部長
”	小林福治	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部前支部長
支部長	青木正邦	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
副支部長	坪池宏	富山県教育委員会教育次長
専任幹事	武島浩	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
幹事	宮口克志	富山市教育委員会教育長
”	本江孝一	富山県高等学校長協会長
”	白江日呂雄	富山県中学校長会長
”	水橋涉	富山県小学校長会長
”	能澤英樹	富山県教職員組合執行委員長
”	中田正幸	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部友の会代表
監査	高木健吉	富山市立芝園中学校長
”	福田有児	富山市立新庄小学校長

# 令和2年度 弘済会事業のあらまし

## 教育研究助成事業

教育研究や実践活動への支援

個人・グループ・学校・教育団体・研究大会などに対し、奨励金や助成金を交付し、本県教育の充実・振興のための支援を行っています。

総額 1,943万円

教育団体研究助成	153 万円	13 団体
教育研究大会助成	222 万円	74 件
教育助成	711 万円	(小) 151 校 (中・高) 86 校
課題研究助成 (平17~実施)	298 万円	595 個人
課題研究奨励助成	90 万円	優秀賞20件 優良賞30件
経営改善助成 (平21~実施)	228 万円	50 件
経営改善奨励助成	115 万円	最優秀賞1件 優秀賞2件 優良賞3件 個人奨励賞5件
現職研修助成	72 万円	24 団体
「教育実践報告集」刊行	54 万円	930 冊

## 奨学事業

無利息で貸与及び返済不要の給付

総額 2,670万円

貸与

有為な人材育成のため、大学・短大・専門学校で学ぶ学生に無利息で資金貸与を行っています。

貸与額 2,100万円 24名

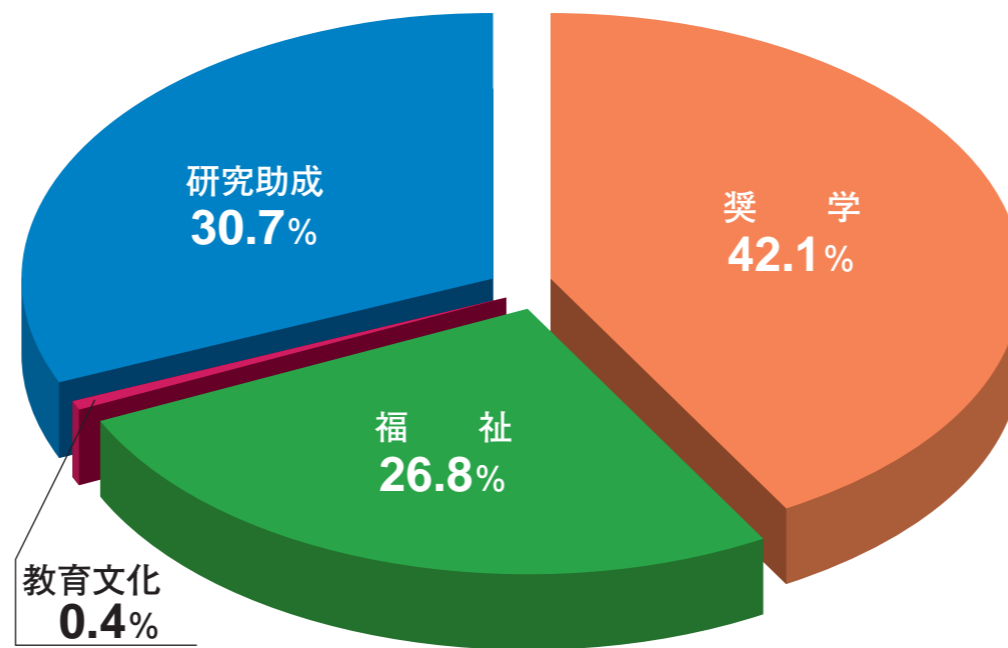
給付

修学意欲が有り、経済支援を要する高校3年生に奨学金を給付しています。

給付額 570万円 高校3年生 57名

## 弘済会事業の拡充

総額 6,332万円



## 福祉事業

暮らしにうるおいを

教弘加入者の皆様に、より豊かな暮らしをしていただくために支援しています。

総額 1,696万円

結婚祝	77 万円	77 名
出産祝	133 万円	133 名
大学・短大・高専・専門学校入学祝	141 万円	142 名
高校入学祝	48 万円	95 名
家族弔慰	227 万円	227 名
本人弔慰	8 万円	8 名
火災見舞	10 万円	1 名
特別協力校(園)記念品	17 万円	19 校
加入継続記念品	50 万円	245 名
健康増進補助	871 万円	1,231 名
指定宿泊施設利用補助	74 万円	321 名
弘済会旅行補助	コロナ禍のため事業中止	
鑑賞・観劇補助等	40 万円	200 名

## 教育文化事業

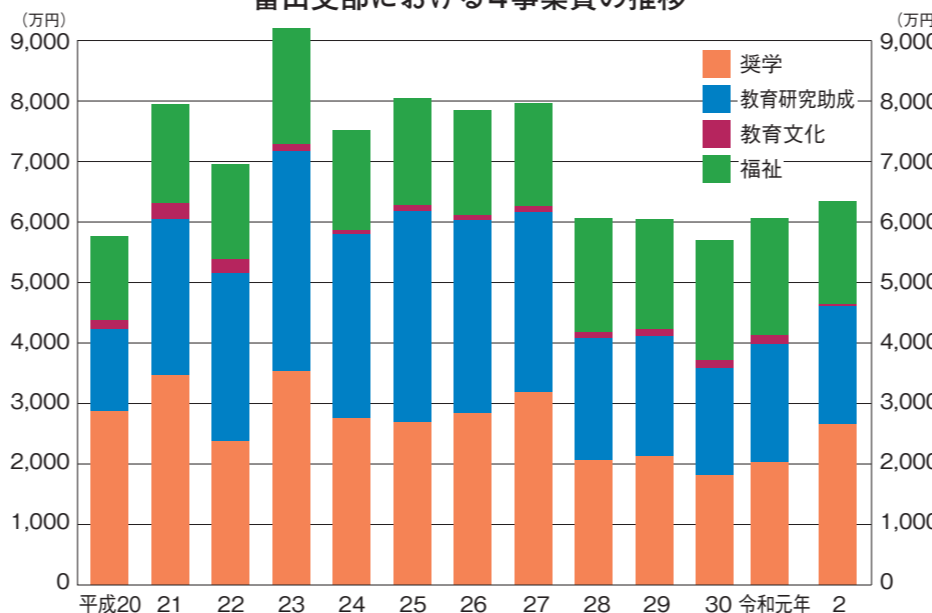
豊かな教育文化をはぐくむために

教育文化の向上を図り、その発展を目指すことを目的に支援を行っています。

総額 23万円

文化振興助成	23 万円	4 団体
日教弘支部奨励金	コロナ禍のため事業中止	
文化講演会 (弘済会企画)		

富山支部における4事業費の推移

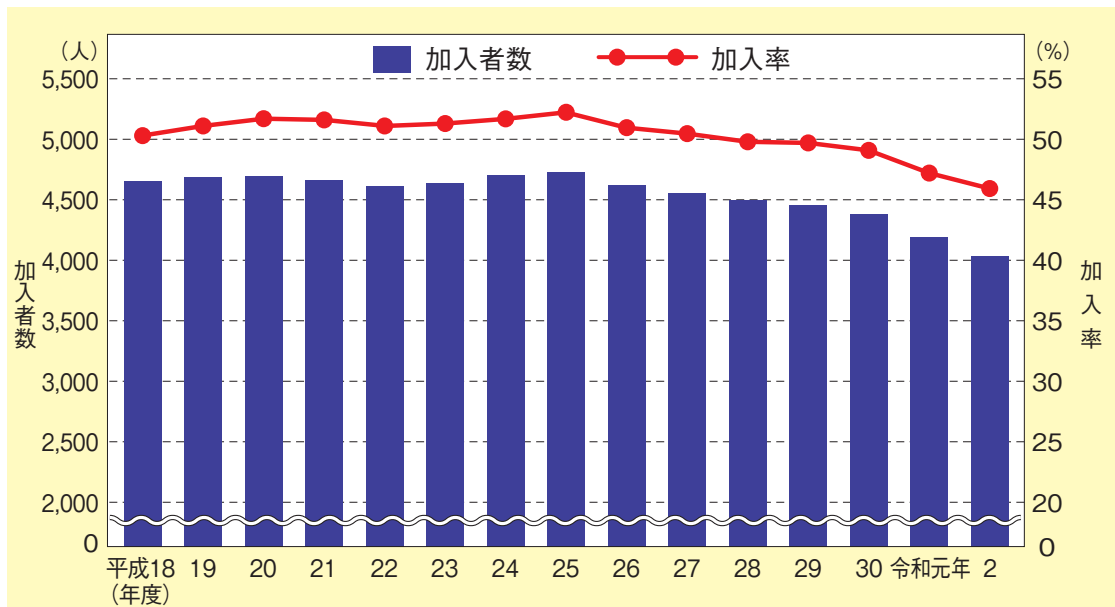


# 「教弘保険」は教職員を支えています

## 共済事業（提携保険事業）

※事業提携会社  
ジブラルタ生命保険(株)

教弘保険への加入状況（現職）



“たすけあいの輪”を広げましょう！

- 富山県の教育の振興に役立っています。  
(奨学、教育研究助成、教育文化(助成)事業など)
- 福祉給付・補助があり、退職後も継続できます。
- 現職の教職員しか加入できない教職員のための「たすけあい」の保険です。
- 保険料が低廉です。(集団契約だから)

